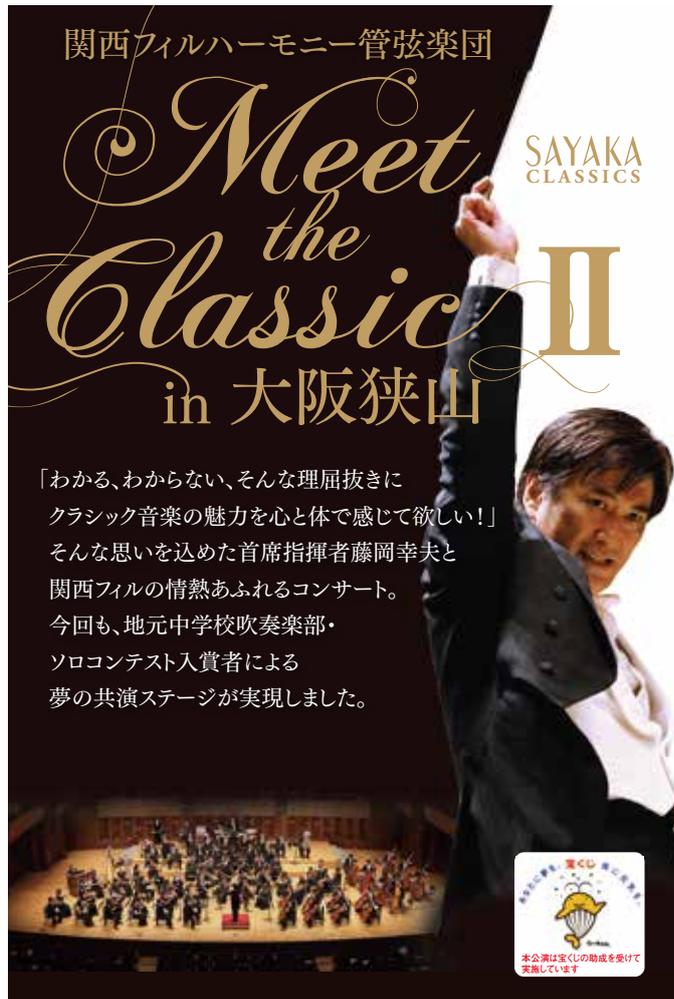


関西フィルハーモニー管弦楽団

Meet the Classic II in 大阪狭山

SAYAKA CLASSICS

「わかる、わからない、そんな理屈抜きにクラシック音楽の魅力を心と体で感じて欲しい!」そんな思いを込めた首席指揮者藤岡幸夫と関西フィルの情熱あふれるコンサート。今回も、地元中学校吹奏楽部・ソロコンテスト入賞者による夢の共演ステージが実現しました。



本公演は宝くじの助成を受けて実施しています

関西フィルハーモニー管弦楽団
Meet the Classic II
in 大阪狭山

2016
2.7(日) 開演/14:00
開場/13:30
SAYAKAホール大ホール
前売/一般 3,000円
高校生以下 1,500円
(当日各500円増)全席指定・税込

- 指揮 藤岡幸夫
(関西フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者)
- 管弦楽 関西フィルハーモニー管弦楽団
- 共演 大阪狭山市内の吹奏楽演奏者を目指す子供達
- 予定曲 ドヴォルザーク：交響曲第9番
ホ短調op.95「新世界より」他
- 主催 (公財)大阪狭山市文化振興事業団
- お問い合わせ TEL.072-365-8700
<http://www.sayaka-hall.jp>

編集後記

見慣れた風景。今年、築造から1400年という記念の年を迎える大阪狭山市のシンボル狭山池。イベントの取材で幾度も足を運んでいます。今回の特集で写し出された狭山池の姿は、かつて見てきた風景とはまるで違うものであることに驚きました。時を選び、場所を選び、光を選び、影を選ぶことで人の心に感動を呼び起こすことができる。このことをあらためて知ることができました。㊦

古事記にも記されている遠い昔から狭山池はそこにありました。水面に映る自然の様々な情景はまるで大きな水鏡を覗くようです。春の昼下り、夏の夜、秋の夕暮れ、冬の朝もや、その時々足を運びます。湧き立つイメージを得て作品が生まれます。身近にあるそんな狭山池の水面は私にとって愛しい居場所となっています。



「悠久の水鏡」(水彩画)
小川 幸紅(大阪狭山美術協会会長)

表紙は「AGUA」

vol.05
読者の声

地元で活躍される方を紹介して頂くと、とても身近に感じ、自分も頑張ろうと元気をもらえました。次号も楽しみにしています。
大阪狭山市狭山 Y様(55才)

R&SAYAMAに参加しています。5号が出たとたん、体験の人がすごい人数になって驚きました。
大阪狭山市池尻中 K様(38才)

毎月さやかホールのレコードサロンに参加しています。その時「AGUA」を読ませていただいております。一番好きな所は「グルメリポート」です。5号を見てすぐ「すし処そら」さんへ行きました。美味しかったです。
堺市南区高倉台 K様(69才)

表紙の絵画がとても素敵で心がなごみます。これからも楽しみにしています。
大阪狭山市狭山 I様(63才)

コンパクトにまとめられており、大変読みやすく、大阪狭山市について新しい発見がありました。素晴らしい地域連携活動のひとつであると思います。
大阪狭山市池之原 T様(81才)